

【参考資料】

2019年度 わが国貿易収支、経常収支の見通し

2018年12月5日（水）発表
貿易動向調査委員会



一般社団法人 日本貿易会
Japan Foreign Trade Council, Inc.

日本貿易会 貿易見通しの特徴

- 日本貿易会 貿易動向調査委員会に参加する**商社8社***が共同で見通しを作成

* 8社（社名五十音順）

伊藤忠商事(株)、住友商事(株)、双日(株)、豊田通商(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、丸紅(株)、三井物産(株)、三菱商事(株)

- 社内外へのヒアリング等に基づく
「**商品別積み上げ方式**」 + 「**マクロ的分析**」
により作成
- 1974年から開始（**2018年で45年目、のべ64回目**）

今回の見通しのポイント

1. 2018年度の貿易収支は資源価格の上昇を主因に3年ぶりに赤字に転じるが、貿易総額は過去最大に

- 貿易拡大に逆風となる懸念が増しているが、貿易摩擦による直接の影響は限定的であり、伸びは鈍化しつつも、輸出は2年連続で増加する
- 原油などの資源価格の上昇を主因に、輸入は2年連続で増加する

2. 2019年度は2年連続の貿易赤字となるが、世界経済の成長を支えに貿易総額は2年連続で過去最大に

- デジタル関連製品の需要や自動化及び省人化を目的とする投資が世界的に回復し、輸出を下支えすると予測
- 消費税率引き上げによる輸入への影響は小さい

3. 2018年度の経常収支は5年ぶりに黒字が縮小も高水準を持続

- 証券投資収益・直接投資収益の受取増が経常黒字を下支えする
- 2018年度は訪日外国人の増加が鈍るが、2019年度は再び加速する

通関貿易の見通し①

2018年度：輸出は2年連続、輸入も2年連続で増加
貿易収支は赤字となるが貿易総額は過去最大に

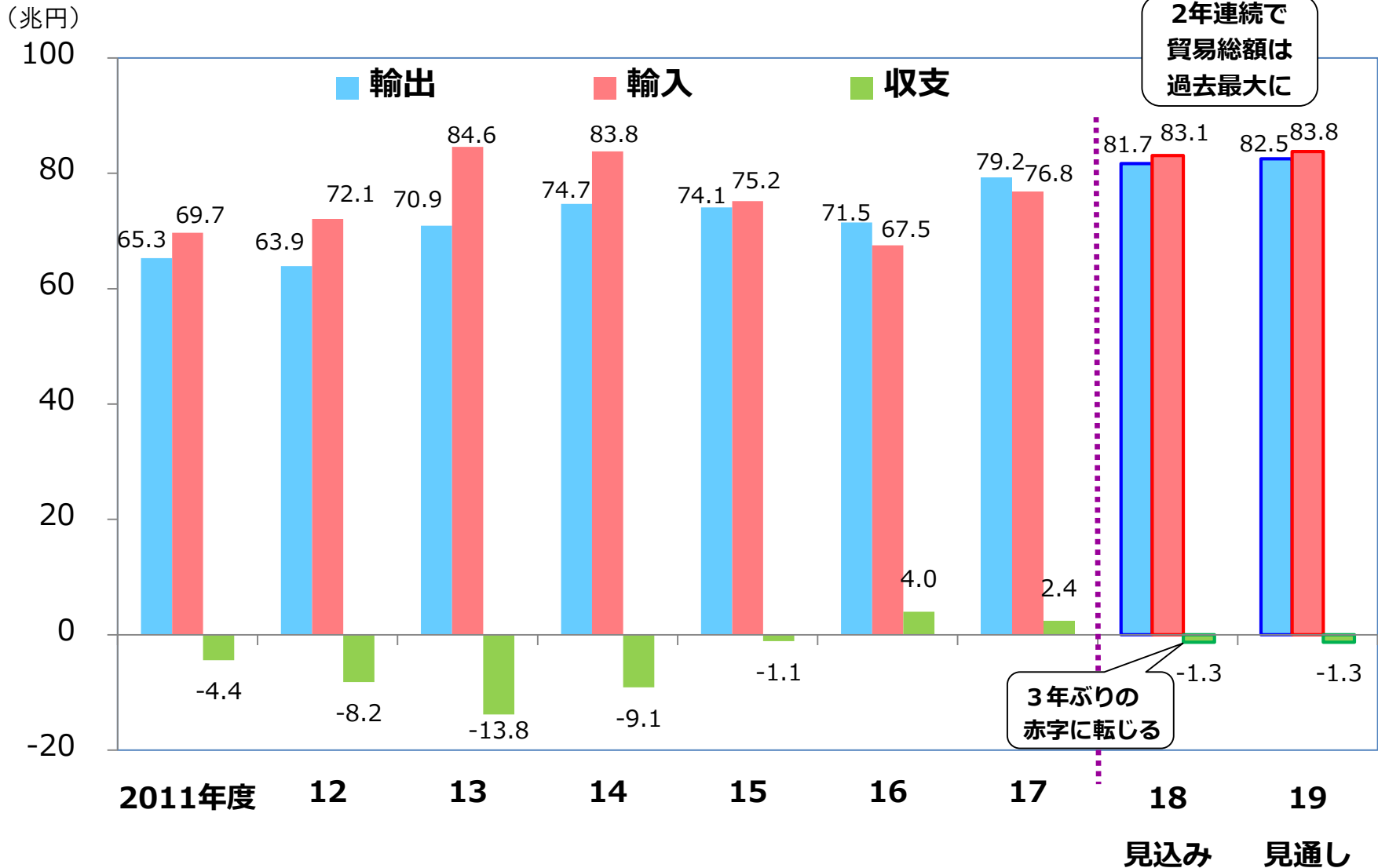
2019年度：輸出入ともに前年度比横ばい

	2017年度 (実績) (兆円)	2018年度見込み				2019年度見通し	
		上半期実績 (兆円)	下半期見込み (兆円)	(兆円)	前年度比	(兆円)	前年度比
通関貿易収支	2.4	0.2	-1.5	-1.3	赤字転化	-1.3	1.3%
輸出	79.2	40.4	41.4	81.7	3.2%	82.5	0.9%
輸入	76.8	40.2	42.9	83.1	8.2%	83.8	0.9%

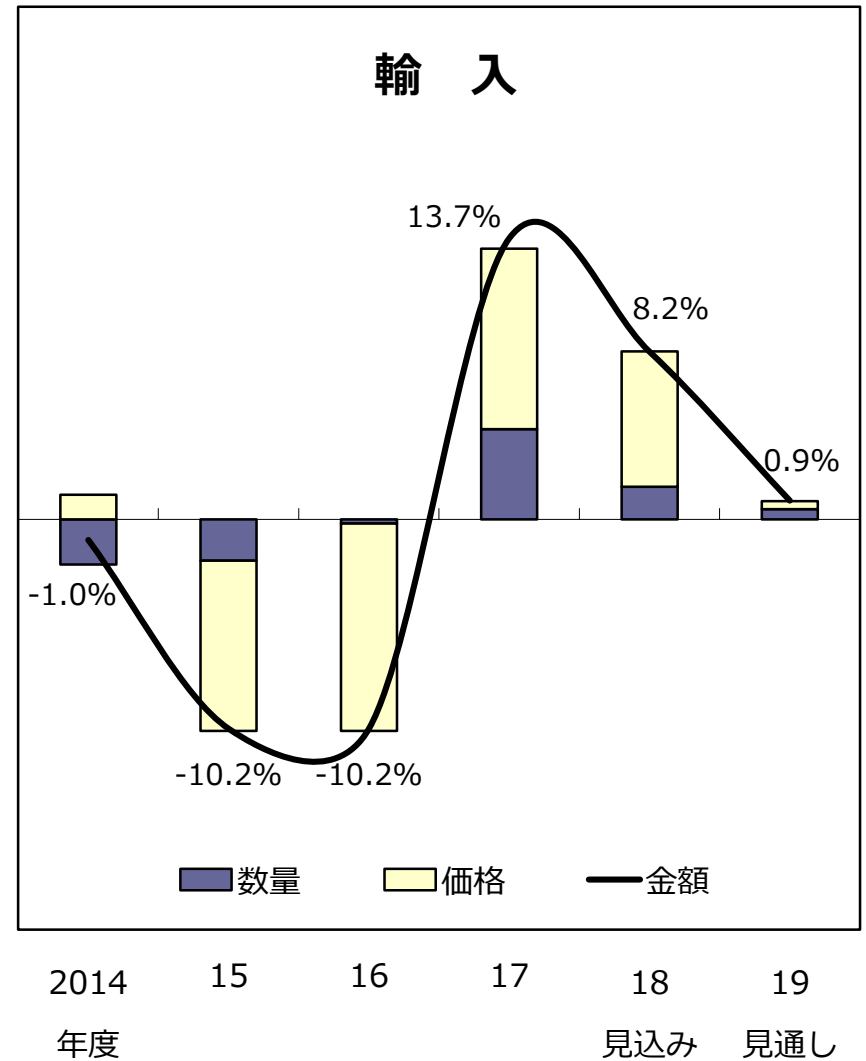
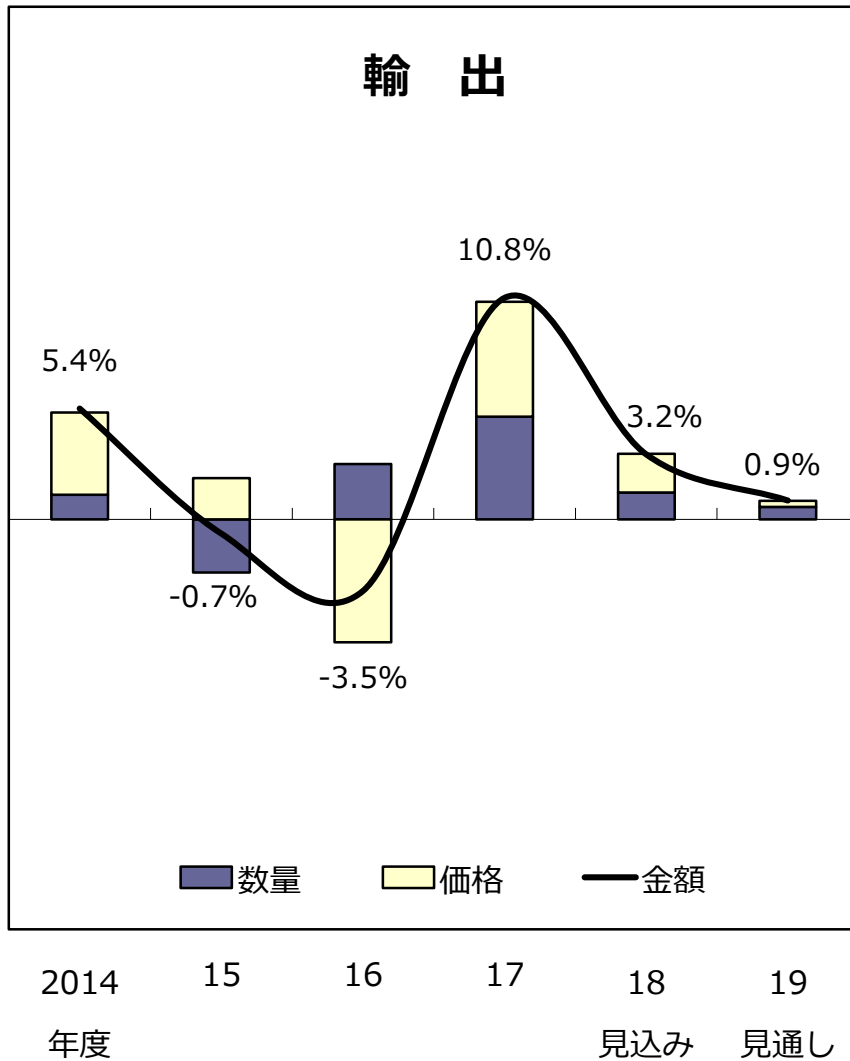
前提条件とした経済環境

			2017	2018	2019
世界貿易		(年)	5.4%	4.4%	4.1%
世界経済		(年)	3.7%	3.7%	3.6%
米国			2.2%	2.9%	2.5%
ユーロ圏			2.4%	2.1%	1.8%
アジア新興国			6.5%	6.5%	6.3%
日本経済		(年度)	1.6%	1.2%	0.9%
為替レート	(円/ドル)	(年度)	111	111	111
原油入着価格	(ドル/バレル)	(年度)	57	75	72

通関貿易の見通し②



通関貿易の見通し③



経常収支の見通し①

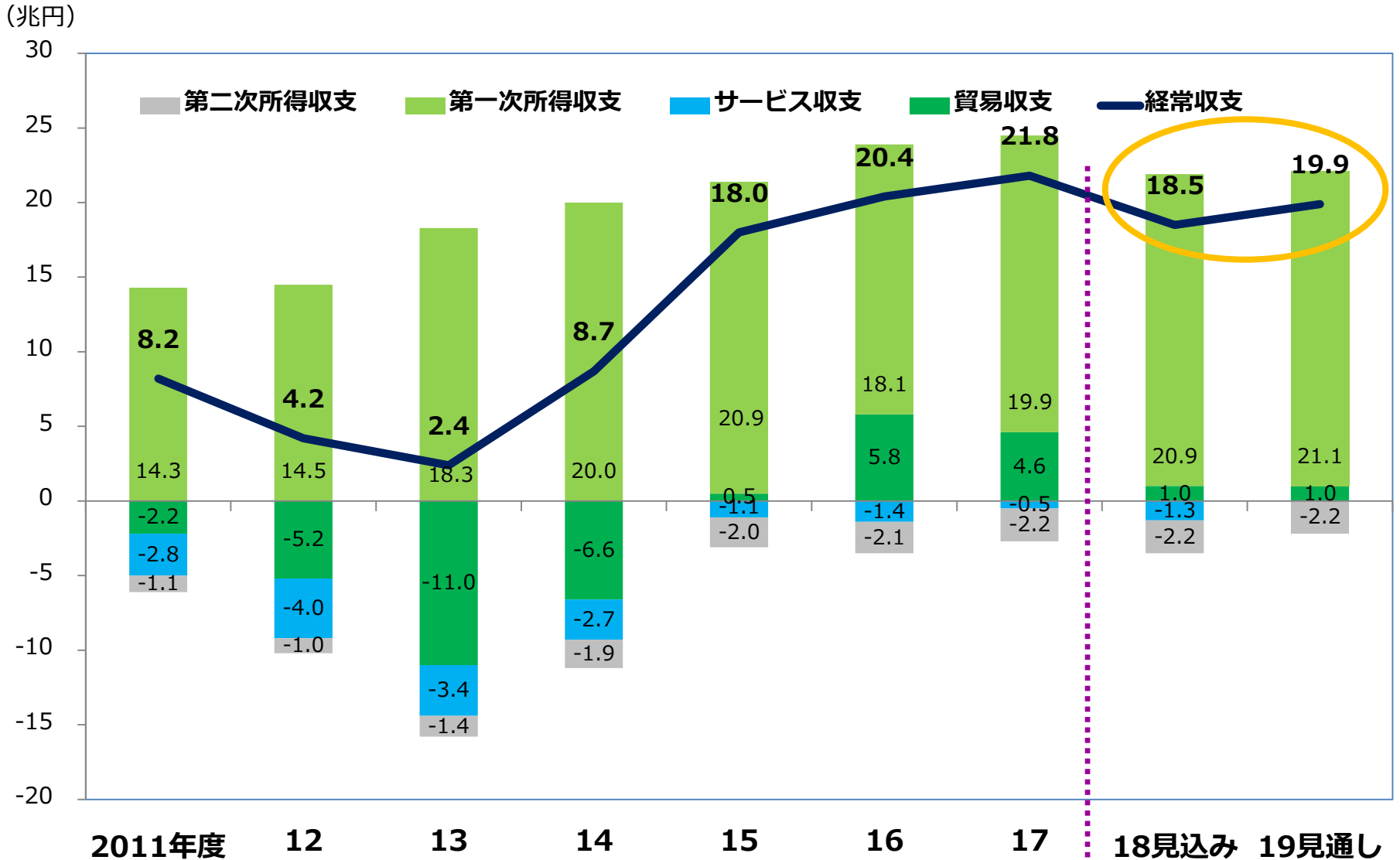
2018年度：18.5兆円、5年ぶりに黒字が縮小も高水準

2019年度：19.9兆円、引き続き高水準を持続
第一次所得収支の黒字を支えに黒字が持続

	2017年度 実績	2018年度 見込み		2019年度 見通し	
	(兆円)	(兆円)	前年度比	(兆円)	前年度比
貿易・サービス収支	4.1	-0.2	-4.3	1.0	1.2
貿易収支	4.6	1.0	-3.6	1.0	0.0
輸出	78.3	80.8	3.2%	81.5	0.9%
輸入	73.7	79.8	8.2%	80.5	0.9%
サービス収支	-0.5	-1.3	-0.7	-0.0	1.2
第一次所得収支	19.9	20.9	1.0	21.1	0.2
第二次所得収支	-2.2	-2.2	-0.0	-2.2	-0.0
経常収支	21.8	18.5	-3.3	19.9	1.4

(注) 金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある

経常収支の見通し②



2018年度 品目別増減 (寄与度順)

輸出 81.7 兆円 (+3.2%)						輸入 83.1 兆円 (+8.2%)					
増加			減少			増加			減少		
(品名)	(10億円)	(伸び率)	(品名)	(10億円)	(伸び率)	(品名)	(10億円)	(伸び率)	(品名)	(10億円)	(伸び率)
輸送用機器	18,994	2.9%	その他	10,720	-1.5%	鉱物性燃料	20,198	24.4%	通信機	2,761	-11.8%
化学製品	8,854	6.0%	科学光学機器	2,307	-4.0%	原油及び粗油	9,299	27.7%	電気機器	11,992	-1.1%
原料別製品	9,281	5.3%				LNG	5,029	23.5%	半導体等電子部品	2,689	-3.7%
一般機械	16,419	2.5%				化学製品	8,396	7.3%	電算機類(含周辺機器)	1,945	-3.2%
鉱物性燃料	1,414	26.1%				原料別製品	7,475	7.2%			
原動機	3,072	10.0%				石油製品	2,108	26.6%			
電気機器	14,084	2.0%				一般機械	7,796	5.2%			
自動車	12,300	1.8%				石炭	2,912	14.5%			
鉄鋼	3,500	5.7%				その他	11,298	2.8%			
自動車の部分品	4,075	4.1%				食料品	7,400	3.8%			

2019年度 品目別増減 (寄与度順)

輸出 82.5 兆円 (+0.9%)						輸入 83.8 兆円 (+0.9%)					
増加			減少			増加			減少		
(品名)	(10億円)	(伸び率)	(品名)	(10億円)	(伸び率)	(品名)	(10億円)	(伸び率)	(品名)	(10億円)	(伸び率)
化学製品	9,150	3.3%	一般機械	16,146	-1.7%	電気機器	12,820	6.9%	鉱物性燃料	19,227	-4.8%
その他	10,978	2.4%	原動機	2,820	-8.2%	原料別製品	8,065	7.9%	原油及び粗油	8,395	-9.7%
輸送用機器	19,184	1.0%	鉱物性燃料	1,289	-8.8%	通信機	3,246	17.6%	その他	11,058	-2.1%
電気機器	14,220	1.0%	非金属鉱物製品	870	-4.6%	非鉄金属	2,341	16.2%	石炭	2,756	-5.4%
自動車の部分品	4,197	3.0%	ゴム製品	861	-3.9%	化学製品	8,687	3.5%	石油製品	2,045	-3.0%
原料別製品	9,400	1.3%			LNG	5,246	4.3%	輸送用機器	3,391	-1.8%	
食料品	880	12.3%			一般機械	7,954	2.0%	魚介類	1,598	-3.3%	
非鉄金属	1,613	4.7%			食料品	7,525	1.7%	LPG	727	-5.6%	
鉄鋼	3,570	2.0%			衣類・同付属品	3,390	2.9%				
電気計測機器	1,758	3.0%			半導体等電子部品	2,774	3.2%				

(補 足)

経常収支の主な構成要素



「通関貿易収支」と經常収支の「貿易収支」の違い どちらを使えばよいの？

- **「通関貿易収支」：通関ベース**

モノの貿易に特化して商品別に細かく分析しているため、**国や企業の経済活動状況や景況感がわかる**

- **「貿易収支」：決済ベース**

国際的な資金の流れとして貿易収支を分析しているため、**諸外国との財貨・サービス・カネの動きがわかる**



【過去の時系列データ】

財務省貿易統計:

<http://www.customs.go.jp/toukei/info/index.htm>

財務省国際収支統計:

http://www.mof.go.jp/international_policy/reference/balance_of_payments/bpnet.htm